



鎌倉市がSDGs 未来都市・自治体モデル事業 (全国で10都市) に選定されました!

エス・ディ・ジーズ

SDGs (エス・ディ・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに解決するための17の目標です。目標は「経済」「社会」「環境」の3つに分類され、3つの側面を全て並立させながらより良い未来を築いていくという考えが基本にあります。地球環境を守りながら、すべての国が発展から取り残されることのない世界にするための全世界で取り組む目標が掲げられています。



でも…よくわからないですね…



SDGs とは、次の世代へ明るく豊かな未来を残すため、全世界で取り組む目標のことです。17 のターゲットの中で、皆様にご協力いただきたいのが、12「つくる責任 つかう責任」です。

2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により廃棄物の発生を大幅に削減することをターゲットのひとつとして掲げています。

海洋汚染が世界規模で大きな社会問題となっており、プラスチックごみが小さく砕けたマイクロプラスチックが世界中の海で確認されています。

そのような状況の中、2018 年夏に由比ヶ浜海岸でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。深刻化する海洋汚染から海と海の生き物を救い、守る取り組みを「かまくら」から始めましょう。

神奈川県は9月に「かながわプラごみゼロ宣言」を発表しました。鎌倉市も10月1日に「かまくらプラごみゼロ宣言」を行い、神奈川県と連携、協調を図りながらこれまでの取り組みを強化し、ゼロ・ウェイストの実現、さらにはSDGsの目標を達成できるよう取り組んでいきます。



SDGs の 17 の目標

私たちにできることから始めましょう



12 つくる責任 つかう責任



マイバッグを持って買い物に行こう



買い物にはマイバッグを持参しましょう。市内のスーパーやドラッグストアでは、マイバッグ持参でポイント還元や値引きをしている店舗もあります。環境にも家計にも優しいマイバッグを利用しましょう。

マイボトルを持って出かけよう



外出時はマイボトルを持参していきましょう。プラスチックごみを減らすことができ、保温・保冷機能付きのボトルなら、好きな飲み物を温かいまま、冷たいまま、おいしく飲むことができます。

ごみの持ち帰りや分別・回収



ごみをきちんと分別して回収することで、カラスなどに荒らされたごみが散乱して環境汚染を招くリスクを減らすことができます。外出先で出たごみは持ち帰り、家庭でもきちんと分別して出しましょう。

プラスチック製の使い捨て商品は使わない



お祭りやイベントでプラスチック製の使い捨て容器を使う代わりに、マイ皿、マイ箸、マイカップを持参してもらう、リユース食器を利用するなど、使い捨てのプラスチック容器を使わないようにしましょう。市ではリユース食器利用に補助金制度を設けています。

繰り返し使える商品を選ぼう



洗剤やシャンプーは詰替え用を、ボールペンは替え芯を利用しましょう。詰替え製品はごみ削減とCO₂削減になります。

生産、流通、販売工程での使い捨て物品の削減

工場における容器包装の減容化、販売でのレジ袋の削減等の啓発を実施、徹底します。県と連携し、プラスチックストローの利用廃止等の取り組みを進めます。



つかう責任



つくる責任